

一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))は、長崎県佐世保市から長崎県佐々町に至る総延長16.9kmの自動車専用道路です。福岡県、長崎県、佐賀県をつなぐ西九州自動車道を構成する一区間として、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の産業・経済・観光などの発展に重要な役割を担っています。

このうち、佐々IC～佐世保中央IC間9.9km(佐世保中央IC～佐世保みなどICの一部を含む)の4車線化工事が、この度完成します。4車線の完成により、安全性・走行性の向上、災害時の代替機能の強化など地域の発展に貢献すると期待されます。

〔路線概要〕

- 路線名 : 一般国道497号(西九州自動車道(佐世保道路))
- 道路名 : E35 西九州自動車道(佐世保道路)
- 区間および延長: 佐々IC ~ 佐世保大塔IC (16.9km)
きた まつうら ぐん さざ ちょう おきた めん させぼ し だいとう ちょう
 (長崎県北松浦郡佐々町沖田免～長崎県佐世保市大塔町)

〔4車線化完成区間〕

- 区間および延長: 佐々IC ~ 佐世保中央IC
 9.9km (佐世保中央IC～佐世保みなどICの一部を含む)
きた まつうら ぐん さざ ちょう おきた めん させぼ し ひらせ ちょう
 (長崎県北松浦郡佐々町沖田免～長崎県佐世保市平瀬町)

◆今回完成区間の位置図



■さらなる安全性の向上

- 対面通行による暫定2車線区間は、4車線区間に比べて、交通事故が発生した場合、死亡事故となる割合が高くなっています。
- 4車線化により、中央分離帯を設置し上下線が分離されることで、対向車線への飛び出しを防止し、安全性が向上することが期待されます。

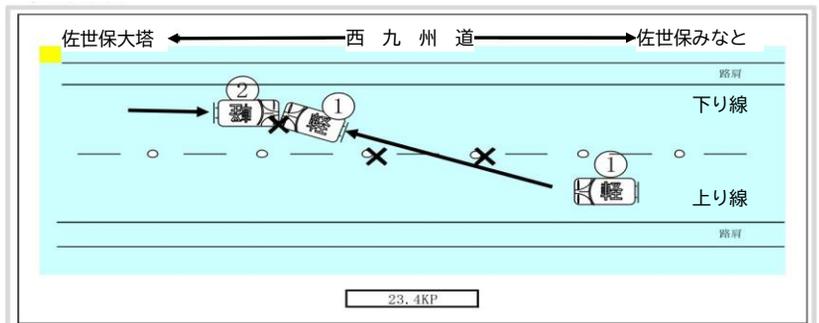
●交通事故による通行止め事例

発生日) 令和4年12月

発生場所) 佐世保大塔IC～佐世保みなとIC

事故概要) 佐世保みなと方面から佐世保大塔方面へ向け70km/hで進行中の車両(①)が、前方不注視により右に斜行し中央帯を突破。下り線走行中の車両(②)に衝突したものの。

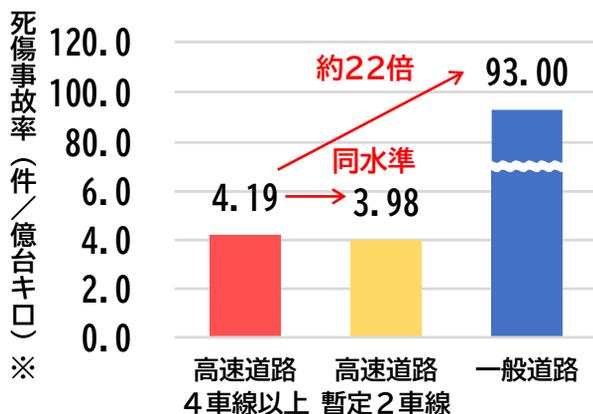
4時間18分の通行止め



資料: NEXCO西日本(長崎県警へのヒアリングに基づく)

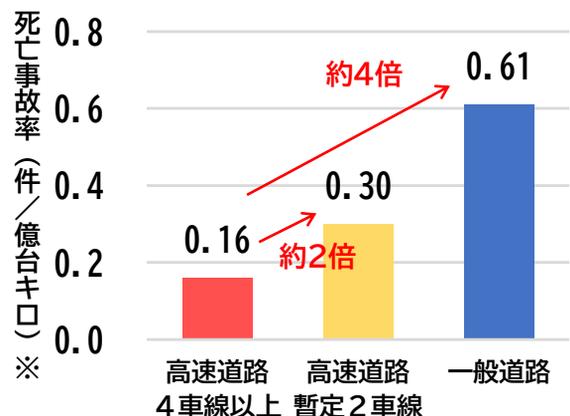
●暫定2車線と4車線以上の事故率

<死傷事故率>



※高速道路: 高速自動車国道(有料)(H25)
一般道路: H25

<死亡事故率>



資料: 道路分科会第13回事業評価部会(H28.3.10)

4車線化により上下線を分離することで、
対向車線への飛び出し防止など安全性が向上

■災害時のリダンダンシー機能強化

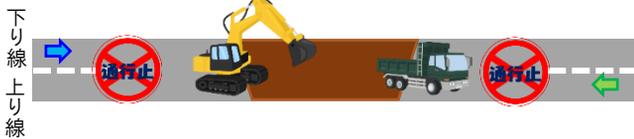
- 異常降雨によるのり面崩壊等の災害時において、対面通行となる暫定2車線区間では、復旧工事がすべて終わらなければ通行する車線を確保することが困難なことから、通行止めが長時間必要になります。
- 4車線以上の区間では、被災した側の車線の復旧工事を行いながら、同時に反対側の車線を対面通行運用するなど、車線を有効に活用することで、災害時の迅速な交通確保などが可能となります。

《暫定2車線区間の災害復旧事例》

区間： E10 東九州自動車道
 椎田南IC～豊前IC
 概要： 平成30年7月豪雨 のり面崩壊



暫定2車線区間は、復旧作業が終わらないと交通確保が困難



全面通行止め：約1か月間

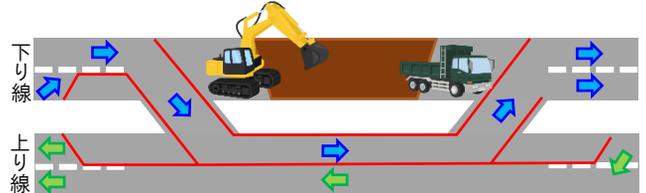
《4車線区間の災害復旧事例》

区間： E3 九州自動車道
 溝辺鹿児島空港IC～加治木JCT
 概要： 令和元年7月九州豪雨 のり面崩壊



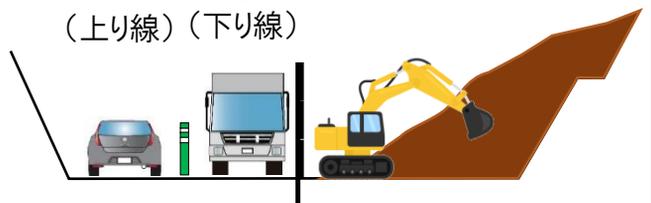
※上り線を対面通行で運用し、復旧作業を実施

4車線のうち、2車線を復旧作業の施工ヤードとして利用し、早期に交通を確保



<対面通行>
 (上り線) (下り線)

<復旧作業ヤード>



全面通行止め：約2日間

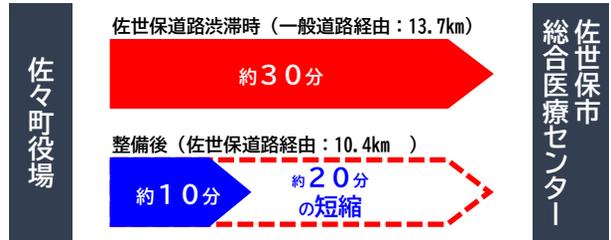
救急医療活動の支援・地域産業の活性化

(1) 救急医療活動の支援

- 佐世保市消防局は、佐世保市内の他、隣接する1市5町を管轄しており、救急搬送時に佐世保道路を利用していています。佐世保道路は、渋滞時の、佐世保市中心部の救急医療機関への到着がより短縮され、搬送時の患者への負担軽減が期待されます。



《第三次救急医療機関への搬送時間》



佐世保中央IC周辺の医療機関への搬送等で佐世保道路を利用しますが、渋滞で追い越しができませんので本線で停止する恐れもあるので、一般道路を利用することもあります。4車線になることで、到着がより早くなることや、搬送時の患者への負担軽減を期待できます。

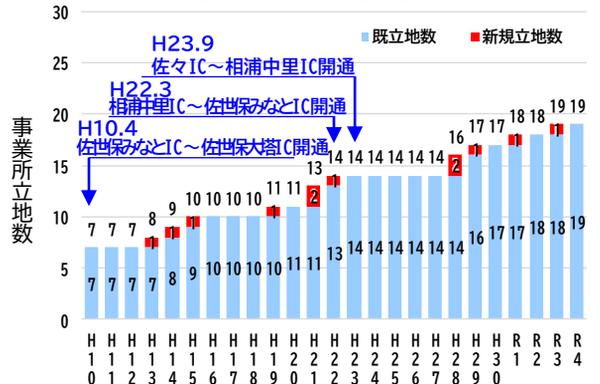
資料：佐世保市消防局ヒアリング（R4.8）

(2) 地域産業の活性化

- 沿線には工業団地が立地しており、佐々IC～佐世保大塔ICの開通以降、佐々IC付近のウエストテクノ佐世保、鹿町町工場適地等が完売しています。現在、相浦中里IC付近にある佐世保相浦工業団地が分譲中です。
- 4車線化により、物流の効率化や確実性の向上が図られ、新たな企業が進出することで地域産業振興や雇用創出が期待されます。



《佐世保市内の工業団地内の事業所立地推移》



佐々IC付近の工業団地完売は、佐世保道路開通が一因となったと考えています。4車線化で、更なる投資と雇用創出につながることに期待しています。

資料：佐世保市企業立地推進局ヒアリング（R4.8）